

経済・金融 フラッシュ

米1月ISM製造業指数は54.1 と7カ月ぶりの水準を回復

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米1月ISM製造業指数は54.1に上昇、昨年6月以来となる7カ月ぶりの水準を回復、景況感の分かれ目となる50を30カ月連続で上回った。製造業指数は、昨年10月を直近のボトムに3カ月連続の上昇となるなど、昨年の夏場にかけての落ち込みから立ち直りつつある。経済全体が勢いを欠く中、製造業の先行的な回復を示唆するものと言えそうだ。（なお、非製造業指数は2/3に発表予定。また、季節調整の年次改定に伴い2005年～昨年末までの指数が改定されている。）

1、ISM製造業指数は54.1と前月比1.0ポイント上昇

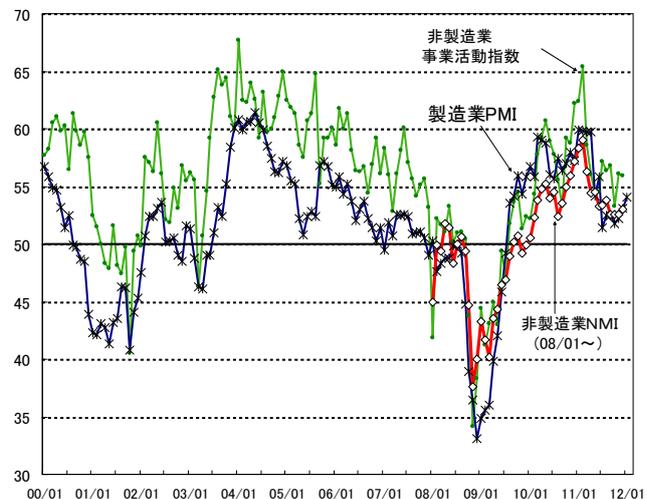
企業のセンチメントを示すISM（米供給管理協会）指数は、1月製造業指数（PMI）が54.1と前月（53.1）から1.0ポイント上昇、市場予想（54.5）を下回ったが、昨年6月以来の高水準となり、30カ月連続での50越えとなった。

PMIの構成指数では、新規受注指数が57.6（前月比+2.8）、在庫指数が49.5（前月比+4.0）と上昇が大きく、半面、生産指数は55.7（前月比▲3.2）と下落が大きかった。

PMIの推移を振り返ると、金融危機後の2008年12月に33.1と近年の最低水準を記録した後、2009年8月に53.5と50台を回復、その後は50台を維持している。なお、昨年1月の59.9をピークに低下し、一時は50への接近も見せていたが、最近の持ち直しによりやや余裕が生じた形である。

発表元のISMでは、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目（GDPのゼロ成長）は42.6であり、1月PMIは実質GDPの年率3.9%に対応する水準としている。

（図表1） ISM指数の推移（月別）



（資料）Institute for Supply Management、以下も同じ。

注：内訳は(図表2・3)参照、1月非製造業指数は2/3発表予定

(各指数別の動向)

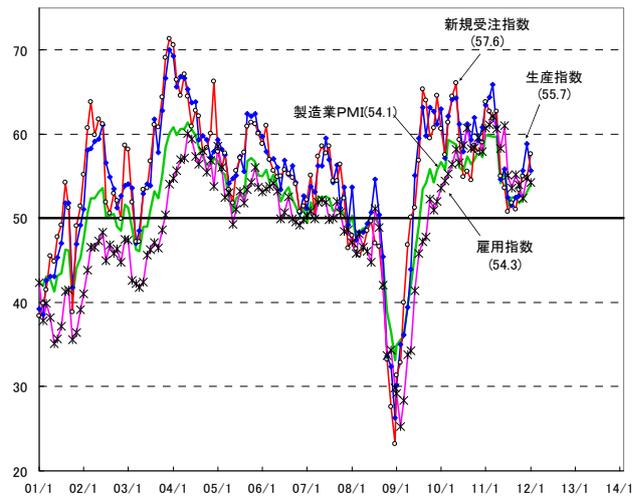
2、製造業構成指数では、受注・在庫指数が回復

PMI の構成 5 指数（受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫）の動きを見ると、新規受注指数が 57.6 と前月比 2.8 ポイント上昇、昨年 4 月以来の水準を回復した。また、在庫指数が 49.5 と同 4.0 ポイント上昇、入荷遅延も 53.6 と同 2.1 ポイント上昇した。半面、生産指数は 55.7 と同 ▲3.2 ポイント下落、雇用指数も 54.3 と同 ▲0.5 ポイント下落した。

上記構成指数以外の 5 指数では、輸入指数が 52.5（同 ▲0.5 ポイント）と下落した他は全て上昇を見せ、中でも価格指数が 55.5 と同 8.0 ポイントの上昇、顧客在庫指数が 47.5 と同 5.0 ポイントの上昇、受注残指数が 52.5 と同 4.5 ポイントの上昇となるなど上昇幅が大きかった。また、輸出受注指数は 55.0 と前月から 2.0 ポイント上昇した。

米経済は、昨年夏場にかけて軟弱な局面を迎えたが、PMI はかろうじて 50 台を維持した。その後も 50 台前半での推移を続けているが、11 月以降は 3 ヶ月連続で上昇、PMI の構成指数では受注・生産の両指数の回復が大きく、構成外の指数では価格指数や輸出入指数の回復が目立つ。1 月はこうした中でも先行指標的な意味合いの強い新規受注、受注残、新規輸出受注等の受注関連指数が揃って上伸しており、先行きの製造業の回復持続を窺わせる動きとなっている。

(図表2) PMI と主要構成指数の推移 (月別)



注：() 内の数値は 2012 年 1 月値

(図表3) ISM指数：製造業各指数の推移

	製造業指数																				12→1月 変化幅
	10年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12年 1月		
P M I	55.7	57.4	56.4	57.0	58.0	57.3	59.9	59.8	59.7	59.7	54.2	55.8	51.4	52.5	52.5	51.8	52.2	53.1	54.1	1.0	
新規受注	54.9	55.6	54.5	58.7	57.8	59.0	63.8	62.7	61.9	62.7	55.0	53.6	50.8	51.8	51.1	53.4	55.0	54.8	57.6	2.8	
生産	57.9	61.2	59.3	62.0	59.2	60.8	63.5	64.4	65.9	60.8	54.6	55.9	52.5	51.5	52.5	52.7	55.7	58.9	55.7	▲3.2	
雇用	58.7	60.7	58.3	58.4	59.6	57.9	60.7	61.1	62.1	60.6	58.3	61.0	55.1	53.6	55.2	54.0	52.4	54.8	54.3	▲0.5	
入荷遅延	58.1	56.4	53.8	53.1	59.5	58.6	59.3	60.1	59.8	59.7	54.4	55.2	50.6	51.2	51.6	52.2	51.3	51.5	53.6	2.1	
在庫	49.0	53.0	56.0	53.0	54.0	50.0	52.0	50.5	49.0	54.5	48.5	53.5	48.0	54.5	52.0	46.5	46.5	45.5	49.5	4.0	
顧客在庫	39.0	43.5	42.5	44.0	45.5	40.0	45.5	40.0	39.5	40.5	39.5	47.0	44.0	46.5	49.0	43.5	50.0	42.5	47.5	5.0	
価格	57.5	61.5	70.5	71.0	69.5	72.5	81.5	82.0	85.0	85.5	76.5	68.0	59.0	55.5	56.0	41.0	45.0	47.5	55.5	8.0	
受注残高	54.5	51.5	46.5	46.0	46.0	47.0	58.0	59.0	52.5	61.0	50.5	49.0	45.0	46.0	41.5	47.5	45.0	48.0	52.5	4.5	
新規輸出受注	56.5	55.5	54.5	60.5	57.0	54.5	62.0	62.5	56.0	62.0	55.0	53.5	54.0	50.5	53.5	50.0	52.0	53.0	55.0	2.0	
輸入	52.5	56.5	56.5	51.5	53.0	50.5	55.0	55.0	56.5	55.5	54.5	51.0	53.5	55.5	54.5	49.5	49.0	54.0	52.5	▲1.5	

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。